



登別市

登別温泉地域における地域活性化に向けた新モビリティ運行（トヨタ・モビリティ基金）

事業内容

① 登別温泉地区における基礎調査

⇒ アンケート調査、交通量調査等を行い
登別温泉地区の交通課題を調査します。

② 新モビリティの実証運行

⇒ 登別温泉地区の交通課題等を解決する
新モビリティの導入を検討し、実証運
行を行います。

③ 今後の交通体系の方向性を検討

⇒ ①、②の結果をもとに、登別温泉地区の
今後の交通体系を取りまとめます。



トヨタ・モビリティ基金の支援を受け事業を行います

トヨタ・モビリティ基金について

地域の移動課題の解決には、地域の多様な分野で活動する行政、市民、公共交通事業者、NPO等との連携から新しい発想を取り入れることが重要であり、そうした発想を取り入れた活動を支援し、より良いモビリティ社会の実現に寄与することを目的とした基金です。



登別市

登別温泉地域における地域活性化に向けた新モビリティ運行（トヨタ・モビリティ基金）

登別温泉街の 主要な交通課題

交通課題① 渋滞の発生

⇒ 特に、チェックアウト時の自動車による渋滞が発生しています。

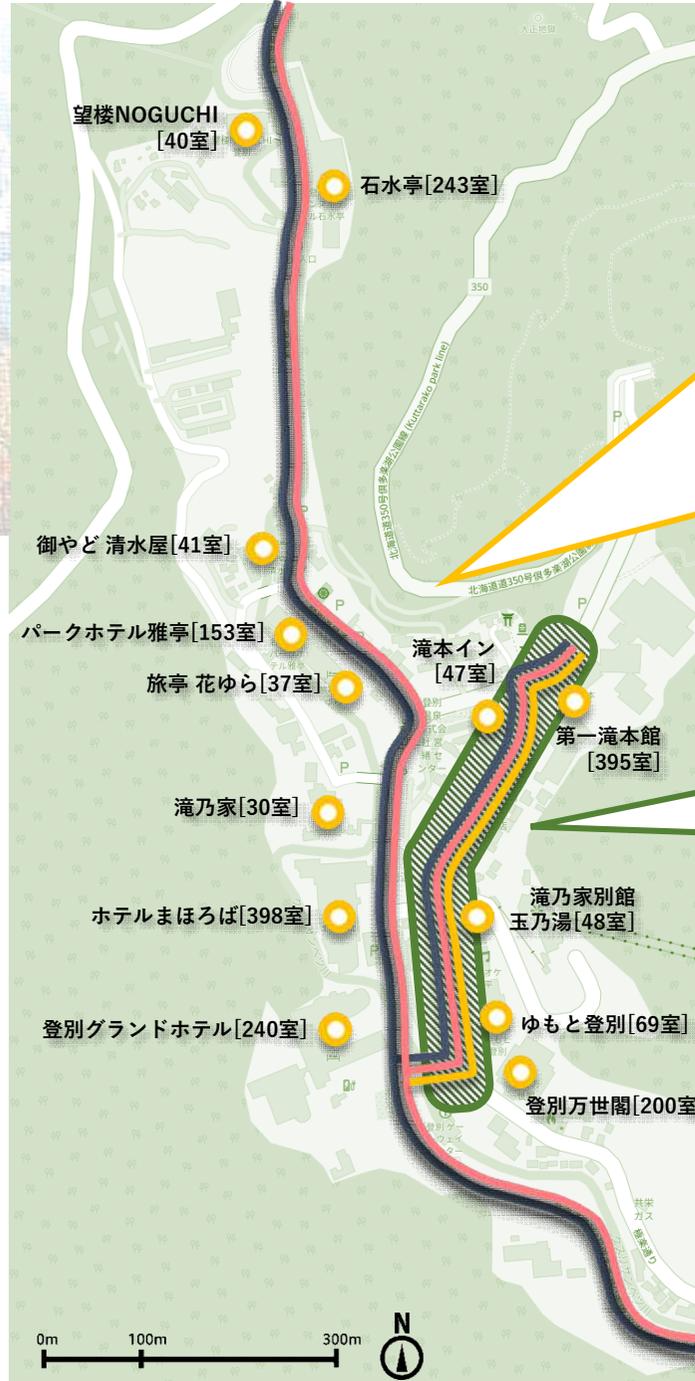
（今後、交通量調査を予定しています）

交通課題② 交通事故の誘発

⇒ 特に、極楽通りでは、自動車と歩行者の動線が集中することにより、交通事故を誘発する状況となっています。また、極楽通りは坂道が続きますが、キャリーバックを持った観光客の移動が多く見受けられ危険を伴います。

（今後、実態調査アンケートを予定しています）

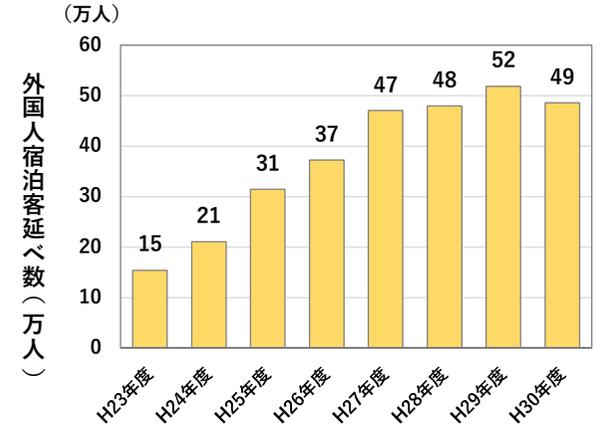
意見交換会では、上記の他、登別温泉街の地元の皆様が感じている交通課題について、ご意見のほどお願いいたします。



交通課題①

観光客の増加に伴う渋滞が発生

⇒外国人観光客は平成23年度より、3倍以上、増加しています！



交通課題②（特に極楽通りにおいて） 自動車と歩行者の動線が集まる ことにより、交通事故を誘発

⇒登別温泉街での交通事故は
H23～H27で6件発生しています！

凡例

- 自家用車（観光・通勤）の動線
- 物流の動線
- 歩行者（観光客）の動線
- ホテル・旅館



登別市

登別温泉地域における地域活性化に向けた新モビリティ運行（トヨタ・モビリティ基金）



まちの課題

平成29年 登別観光に関するヒアリングより

ヒアリング対象者	登別観光の課題・理想（抜粋）
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 温泉地区は駐車場がなく、日帰り客が気楽に来ることができない。 ● すべてを包括することはできないので、他地域（例えば白老）と補い合うことが重要。
商店	<ul style="list-style-type: none"> ● 回遊性を持ってお金を落としてもらう仕組みが必要。お金を地域内で回す仕組みが必要。
観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 温泉街とのシャトルバスを繋ぎ、気軽に行けるようになったら良い。 ● 交通が不便なため、デマンドバスや循環バスがあれば助かる。 ● 2次交通の不足（JR登別駅⇄温泉地区間）

まちの課題：周遊性の向上

⇒ 温泉街内、市内地区間、広域的な自治体間の移動のしやすさが周遊性の向上に繋がると考えられます。

登別市の主要な観光施設（温泉街・登別駅前）



地図：登別国際観光コンベンション協会

⇒ 観光施設が多く立地する温泉街内の移動や玄関口となる登別駅からの移動のしやすさが重要です。

広域観光



⇒ 広域観光連携が検討されています。

登別市内の主な取り組み（手ぶら観光・ポーターサービス）

無料で宅配からアンケートに答えてノベルティをもらおう！
手荷物無料宅配サービス

今日宿泊予定のホテルまで手荷物を無料で宅配します

1 手荷物を手荷物受付所で預ける
2 手荷物を宅配業者が回収する
3 手荷物を受け取るホテルまで宅配する

ホテル	ホテル	ホテル
登別温泉ホテル	登別温泉 湯元	Takemura
登別NOGUCHI	登別温泉 湯元	Hotel Noboribetsu
湯元温泉	Koyuzo	Tanemura
パークホテル	Park Hotel Miyazaki	Noboribetsu Grand Hotel
登別温泉	Hanayama	Hotel Yamanote Noboribetsu
湯元温泉	Takemoto Inn	Noboribetsu Mansaku
湯元温泉	Daichi Takemoto	Hanaya

2016年2月15日(月)～2月25日(木)
受付時間 お昼から15:20まで（遅くとも18:00までにお届けします）
受付場所 手荷物受付所

アンケートにお答えください（回答者にはノベルティをプレゼント！）

お問い合わせ先 TEL: 080-7778-1147



写真：登別市観光経済部



写真：登別市観光経済部

⇒ 手荷物を気にすることなく観光に集中、移動のしやすさが向上！



登別市

登別温泉地域における地域活性化に向けた新モビリティ運行（トヨタ・モビリティ基金）

交通課題、まちの課題の
解決に向けて
グリーンスローモビリティの
導入を検討しています

グリーンスローモビリティとは

① 電動の乗り物です

⇒ CO₂の排出量を削減します

② 時速20km未満で公道を走ります

⇒ 安全性の高い乗り物です

③ 4人乗り以上です

⇒ 地域の様々な事情に合わせて
活用場面を考えられます



写真：沼津市HPより（平成30年10月 実証運行）



ゴルフカートタイプ（写真左）と
電動低速バスタイプ（写真右）が
主流となっています。
窓ガラスがなく開放的な車両が多
いのも特徴です（改良も可）。

実証運行時に予定している車両「eCOM-8」

- 最高時速19kmの電動低速バス
- 乗車定員9人（運転手除く）



登別市

グリーンスローモビリティの効果的な活用事例

グリーンスローモビリティの一般効果

- ① グリーン（環境に優しい乗り物）
- ② スロー（安全性の高い乗り物）

最も重要な効果（地域独自の課題を解決）

上記にプラスして、地域が抱えている課題を解決するための独自性のある乗り物として導入することにより、地域の魅力がより向上すると考えられます。

導入に向けましては、意見交換会やアンケート調査等、様々なご意見、アイデアより検討することが必要不可欠となります。

富山県黒部市（宇奈月温泉街）

車両 「eCOM-8」



写真：にいかわどっとこいHP

運行形態

- 温泉街を周遊バス路線（温泉街周回コース5.9km 他）
- 無料
- 定員：9名
- 運行日：4月～11月（毎日運行）

特徴（地域資源の利用・公共交通の確保）

- ① 小水力発電を活用した電気を利用（さらなる、CO₂削減）
- ② 高齢化に伴う市民の足となる公共交通としても活用

東京都豊島区（池袋エリア）

車両 「eCOM-10を改良」



写真：イケバスHP

運行形態

- 池袋エリア周遊バス路線（1周 約35分、20分間隔運行）
- 大人：200円 子ども：100円
- 定員：22名
- 貸切運行も可能

特徴（地域のシンボル）

- 移動を楽しむための乗り物
- ・著名なデザイナーによる洗練された真っ赤なかわいい車両デザインです
- ・10台の車両の内、7号車のみ黄色く塗られ「幸運のバス」と呼ばれています



登別市

登別温泉地域における地域活性化に向けた新モビリティ運行（トヨタ・モビリティ基金）

登別温泉街の交通課題・まちの課題の解決策（案）

来年度、グリーンスローモビリティの実証運行を予定しています

極楽通りの交通渋滞、交通事故の抑制、観光客の周遊性の向上を主目的とした解決策（案）です

意見交換会やアンケート調査でのご意見、交通量調査をもとに、実証運行の内容を検討していきます。



グリーンスローモビリティ導入（案）

提案内容 ① 駐車場の整備

- 旧国立病院跡地の駐車場利用
⇒ 一度、駐車場に集約します
⇒ 駐車場から各施設へ移動します

提案内容 ② 運行内容

- 観光客、従業員、物流の目的で登別温泉通をグリーンスローモビリティが専用車両として運行

期待される効果

- 渋滞や交通事故の発生の緩和
- 観光客の満足度・周遊性の向上（乗り物の楽しさ・利便性向上により）
- ホテルへの送迎バスの削減
- ホテル従業員の通勤をカバー

駐車場

社宅

凡例

- グリーンスローモビリティ
- 自家用車（観光・通勤）の動線
- 物流の動線
- ホテル・旅館

